

部局名	生涯学習部	所属名	市民文化課	所属長名	大平 純一郎	電 話	481-0309
-----	-------	-----	-------	------	--------	-----	----------

1. 事務事業の位置付け・概要（P L A N）

コード	4057		事務事業名称	生涯学習振興事業					短縮コード	経常	4057	臨時	4058
予算区分	会計	01	一般会計	款	10	教育費	項	05	社会教育費	目	08	生涯学習振興費	
区 分	☒ 自治事務 ☐ 法定受託事務 ☐ その他			根拠法令等		八千代市生涯学習審議会条例、八千代市生涯学習審議会条例施行規則、八千代市生涯学習推進本部設置規程 八千代市生涯学習基本構想、八千代市生涯学習推進計画							
事業概要（事務事業を開始したきっかけを含めて記入）													
1) ホームページによる学習情報の提供（平成15年度より市民からの要望により開始。） 2) まちづくりふれあい講座（平成8年度より生涯学習振興事業の一環として開始。市の職員を講師として市民グループの学習の場に派遣している。） 3) 市内大学公開講座の支援（平成元年より八千代市大学機能の地域開放促進事業として開始。広報等での周知や補助金の交付を行っている。） 4) 高齢者学習グループの支援（ふれあい大学のＯＢ等を高齢者学習グループとして登録し、施設の使用料の減免等を行う） 5) ふれあい教室（昭和58年度より高齢者活力地域還元事業として開始。その後平成6年度より指導者の枠を高齢者に限ることをやめ、名称も「市民活力地域還元事業」と改めた。事業概要は、市民文化課に登録された各種目のボランティア指導者と指導を希望する団体との仲介。）													
事務事業を取り巻く状況の変化 又、今後の変化の推測				総合計画の施策体系	5本の柱（章）	02	人間尊重都市をめざして						
人口の増加、高齢化の進行、また、団塊世代の大量退職に伴う余暇時間の増大により、生涯学習に対する関心は益々高まり、生涯学習のニーズは増え、今後もこの傾向が続くと予想される。					大項目（節）	02	生涯学習						
					中 項 目	01	生涯学習						
					小項目（施策）	01	生涯学習推進体制の充実						
						02	生涯学習機会の拡充						
					細 項 目	02	学習相談体制の充実						
02	生涯学習ボランティアの育成・支援												
				実施計画の計画事業									
計画事業の位置付けの有無			☐	計 画 事 業 期 間		～			計 画 事 業 費		千円		

2. 事務事業の目的・指標・実績（D O）

対象 （誰を何を対象にしているのか）	・ 市民（生涯学習情報の提供） ・ 市内各小中学校児童、幼稚園・保育園・学童保育所の児童、公民館やP T A等の団体等（ふれあい教室） ・ ふれあい大学ＯＢ等高齢者（高齢者学習グループの支援）							
手段 （具体的な事務事業のやり方、手順、詳細）	※平成18年度に実際に行ったこと： 1) ホームページによる学習情報の提供、2) まちづくりふれあい講座（職員による出前講座）実施、3) 市内大学公開講座の支援、4) 高齢者学習グループの支援、5) ふれあい教室（ボランティア指導者と指導希望団体との仲介）の実施、6) 八千代市総合生涯学習プラザの開設準備、7) 八千代市生涯学習審議会の開催							
	※平成19年度に計画していること： 1) 生涯学習情報の提供、2) まちづくりふれあい講座、3) 市内大学公開講座の支援、4) 高齢者学習グループの支援、5) ふれあい教室の実施、6) 第4次八千代市生涯学習推進計画の策定、7) 八千代市生涯学習審議会の開催							
意図 （何を狙っているのか）	生涯学習に関する情報を提供することによって、市民の生涯学習への興味や意識を高める。また、高まった生涯学習に対する意欲を、場所や人材の提供等で支援し、生涯学習の輪を広げることによって、地域の教育力を高めていく。							
結果 （どんな結果に結びつけるのか）	市民の余暇時間の充実、地域のつながりの強化、市民の教養の高まり							
区 分				単位	1 7 年度	1 8 年度		1 9 年度
					実績	計画	実績	計画
対象指標	指標 1	全市民（3月末現在）	人	184,979	185,000	186,650	187,000	
	指標 2							
	指標 3							
活動指標	指標 1	各事業利用者数	人	24,821	20,400	30,852	31,000	
	指標 2							
	指標 3							
成果指標	指標 1	各事業利用者数の市民に対する割合	%	13.4	11	16.5	16.6	
	指標 2							
	指標 3							
上位成果指標	指標 1	生涯学習情報が得られやすいと感じている市民の割合	%			16		
	指標 2	まちづくりふれあい講座の開催回数	回			347		
	指標 3							

コード	4057	事務事業名称	生涯学習振興事業				所属名	市民文化課
今後の方向性	⑥この事務事業の今後の方向性を選択し、その詳細について右欄に記入する。	☒ 改革・改善して継続			申請受付・データ入力等の単純業務、職員の補助業務などを臨時職員で対応する。また、IT化によって業務を効率化し、業務時間を短縮することで、時間外勤務手当を削減する。			
		☒ 手法プロセスの改革・改善						
		☐ 事業規模の拡大・縮小						
		☐ 統合・役割見直し						
	☐ その他							
☐ 廃止								
☐ 休止								
☐ 現状のまま継続								
	⑦この事務事業の今後の経費・成果の方向性について選択し、右欄に理由を記載する。			経 費			パソコンの利用による文書類のデータ化や連絡業務の効率化をより一層進めることにより、人件費の削減を図りつつ、ボランティアの協力を得て事業内容を充実させるため。	
				削 減	不 変	増 加		
		成 果	向 上	☒	☐	☐		
			不 変	☐	☐	☐		
			低 下	☐	☐	☐		

この事務事業に対する市民や議会の意見（担当者が把握している意見） ※内部サービス業務の場合は、住民ではなく、サービス利用者、関連部門の意見や実態など	
1) まちづくりふれあい講座 ・新規講座メニューの追加要望 2) ふれあい教室 ・ボランティア指導者の数の確保等	

所属長コメント	・当該事業は、市民のさまざまな学習ニーズに応えるため、まちづくりふれあい講座（市職員の出前講座）や市内の大学公開講座の支援などを行っているが、事業利用者数は全体の１５．６％程度で市民の認知度が低いことから、今後さらに市民へのPRが必要である。また、従来から市民向けの公開講座を実施している大学への補助金については、所期の交付目的を達成しており、近隣市の取扱状況等を考慮した結果、１８年度をもって廃止した。	
評価調整委員会意見	☒ 改革改善して継続	IT化に関わる費用対効果を検証し推進すべき。
	☐ 手法プロセスの改革・改善	
	☐ 事業規模の拡大・縮小	
	☐ 統合・役割見直し	
☒ その他		
☐ 廃止		
☐ 休止		
☐ 現状のまま継続		